

平成26年度パイロット事業
地域ケア会議に携わる人材育成のための実践課題

各市町村と道士会を繋ぐ窓口担当を配置・育成し
地域作業療法を推進する事業の報告



公益社団法人) 北海道作業療法士会

代表理事 清水 兼悦

(旧) 地域作業療法推進委員会 道南地域長

現 地域部担当理事 ○小岩 伸之

菊池啓介 仙石泰仁

岩永輝明 浅野葉子

179市町村に窓口担当を
従来は2500名で10支部
⇒道南・道央・道北・道東
の4地域長・29地区長で
179市町村担当を支援

道央地域 70市町村

石狩(鳥取);1203名
空知(山形);115名
後志(山梨);120名
日高・胆振(和歌山・奈良);245名

道南地域 18市町村

渡島・桧山(埼玉・佐賀);212名

道北地域 59市町村

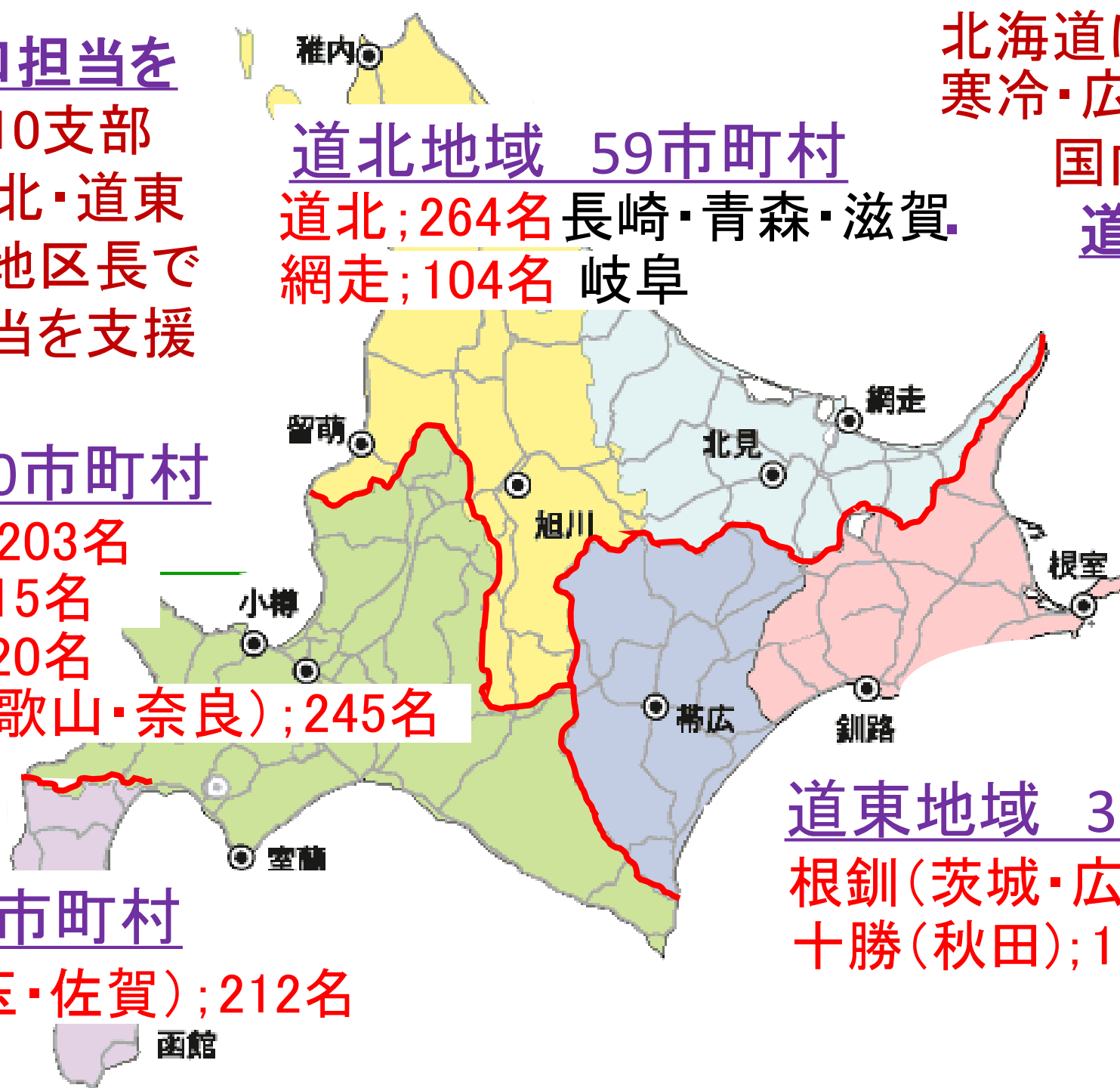
道北;264名 長崎・青森・滋賀
網走;104名 岐阜

北海道は4K
寒冷・広大・高齢・過疎
国内1718市町村
道内179市町村

道士会員数
2500名
新規卒業
年200名以上
平均31才
70%が<10年

道東地域 32市町村

根釧(茨城・広島);112名
十勝(秋田);128名



各市町村と道士会を繋ぐ窓口担当を 配置・育成し、地域作業療法を推進する ①

- 平成24年度から、地域作業療法の推進に大きく舵を切った。
- 平成25年度から、市町村担当と地区代表、10支部、4地域化を推進。

①平成26年度、パイロット事業の資金援助を受けて、
道内179市町村（国内は1718市町村）に対して、
OT不在地域にも対応するため、二次医療圏域に準じた27地区、
県士会レベルの10支部、それらを4地域に機能統合し、
理事会との双方向的システムと派遣システムを確立する。
担当者名簿や地域OTに関するツール・コンテンツを作成し、
OT活用の啓発や普及に資する人材を、OJTを含めて育成する。

市町村窓口担当に期待したこと

地域ケア会議・地域支援事業への参加（個別訪問も）、
地域包括ケアシステムの確立に向けてOTの啓発と普及。

- 作業療法士の業務の周知
 - ⇒ 道士会にて資料・名刺を用意
- 地域支援事業やケア会議の進捗状況の確認 （DB作成）
 - ⇒ 道士会を通し各市町村の情報・好事例を共有
- 支援や参加の要請に出来る範囲にて応える
 - ⇒ 道士会からも職場長へ派遣の要請
- 担当に資する best practice の情報共有
 - ⇒ 道士会事業としてOJTによる拡充へ

窓口訪問までの準備

- 地域作業療法（士会研修会）の予習をしてくる
- 担当市町村のHPおよび市町村の窓口に連絡しチェックする
- チェックする項目は

① 地域の政策および実施計画および状況

（第5期高齢者保健医療福祉計画などにおける、
OTの認知、計画状況など）

- 1) 上記計画の入手および確認
- 2) 1) が入手できない場合は

① 地域ケア会議の開催状況、実施計画

② 介護予防事業の計画・実施状況（できれば医療連携も）

市町村担当として ケア会議や訪問の受託

- 市町村担当を中心として複数名の確保
(道士会として施設長への派遣要請、首長は検討中)
- 公社 道士会として業務委託を受ける
(個人的なつながりよりも組織として)
- 地域長・支部長・地区長などと微調整
(とくに冬季間の移動などに)
- 道士会の規定の範囲内にて時間報酬
および交通費実費 (休業補償など施設により要検討)

委託書の項目

顧問弁護士に依頼し文書作成

- 委託業務
- 処理の方法
- 委託期間
- 委託料
- 契約保証金
- 再委託などの禁止
- 業務担当員
- 業務処理責任者
- 結果の報告
- 報告義務
- 調査など
- 委託事業内容の変更など
- 甲の解除権
- 乙の解除権
- 損害賠償
- 秘密の保持
- 個人情報保護
- 相殺
- 管轄裁判所
- 契約に定めない耳垢

このほかに、支援事業の実施要領、個人情報取扱特記事項

北海道作業療法士会 市町村担当者 フローチャート ケア会議派遣までの Step12



作業療法士がお役に立ちます

公益社団法人 北海道作業療

作業療法士とは…？

私たち作業療法士(OT:Occupational Therapist)は、

身体や精神に障害がある方、またはそれが「予測される方」に対して、機能回復や生活動作の改善、福祉機器の導入、社会資源の相談、日常生活や社会に復帰するための練習や指導、支援など、リハビリテーション医療に関わる専門職です。

1965年に制定された身分法により、作業療法士の業務は、作業＝手工芸として誤解されてきました。

作業療法士にとっての作業とは、その人が専念していることであり、365日24時間営まれる生活行為そのものなのです。

作業療法士が関わる領域は、皇病による身体障害や老年期障害、発達障害や精神障害など幅広く、あらゆる人々に携わっています。

特にこれからの時代は、高齢者の健康維持や地域包括ケア、精神ケア、そして学校教育と連携しての発達支援など、病院や施設のみならず、地域での予防的ニーズが急激に高まっていくことが予想され、確かな専門性と人間性を備えた作業療法士の輩出と、広い分野での活躍が期待されています。

作業療法士の地域での活動

作業療法士は、病院や施設を中心として従事してまいりましたが、

地域でのニーズに応えるべく、以下のような活動を行っております。

1. 公民館や地域サークルなどでの健康維持・増進の指導・支援
2. 在宅高齢者や障害児・者などへの訪問による指導・支援
3. 通所介護事業所・訪問介護事業所・児童デイサービスなどの運営
4. 保育所や教育機関と連携した発達障害児などへの指導・支援
5. その他 地域にて求められる各活動

公益社団法人 北海道作業療法士会

TDSO-0807

札幌市北区北7条西2丁目6 37山京ビル711号室

電話: 011-398-3222

FAX: 011-398-3266

URL <http://heat.jp>



北海道作業療法士会
Hokkaido Association of Occupational Therapists

市町村担当者の
名刺や名簿を
作成

ハ	介護老人保健施設コミュニティホーム白石	
ニ	介護老人保健施設コスモス	
ホ	牧田病院 デキアセンター	
ヘ	手稲溪仁会病院	
ト	時計台記念病院	
チ	札幌山の上病院	
リ	定山溪病院	
ニ	北樹会病院	
子	真栄病院	
リ	さっぽろ在宅医療クリニック	
ニ	さっぽろ訪問看護ステーション	
弘	札幌西山山病院	
信	新札幌パウロ病院	
乙坂 遼子	介護老人保健施設エルコール平和	
原田 拓哉	定山溪病院	
我妻 智恵子	秀友会在宅リハビリテーション部	
森林 史代	さっぽろ高齢者福祉生活協同組合 イリスとまろ	
小林葉	札幌山の上病院	
千歳市	沼田士朗 千歳聖友会病院	
	三浦正樹 千歳リハビリテ	
恵庭市	佐藤和彦 恵庭市保健セ	
	池田 保 日本福祉リハビ	
北広島市	玉邑惠美 北広島リハビリ	
	小田島秀典 訪問看護ステーション	
江別市	宇佐美陽平 訪問看護ステ	
	永坂公基 訪問看護ステ	
新篠津村	浅野素子 北海道医療大	
当別町	浅野素子 北海道医療大	
	浅野素子 北海道医療大	
石狩市	我妻智恵子 秀友会在宅リハ	
岩見沢市	鈴木光広 岩見沢市	
	磯石栄一郎	
美瑛市	小達亮 北海道中央労イター	
三笠市	鈴木光広 岩見沢市立総合病院	
	磯石栄一郎	
由仁町	鈴木光広 岩見沢市立総合病院	
	磯石栄一郎	
長沼町	玉島太一郎 介護付有料老人ホームかえでの	
栗山町	三上友朗 栗山赤十字病院	
南幌町	山田達也 南幌町役場	
月形町	青田史朗 介護老人保健施設月形緑苑	
夕張市	土屋隆 介護老人保健施設夕張	
滝川市	田中良二 滝川市立病院	
	村井八恵子 滝川市健康づくり課	
芦別市	浅野友佳子 訪問リハビリらいらっく	
	治部 平岸病院	
	常寛 介護老人保健施設みやかわ	
	井八恵子 滝川市健康づくり課	
	木文義 介護老人保健施設健寿苑	
	常寛 介護老人保健施設みやかわ	
	常寛 介護老人保健施設みやかわ	
尾由紀	空知中央病院	
松克敏	深川市立病院	
野友佳子	訪問リハビリらいらっく	
松克敏	深川市立病院	
野友佳子	訪問リハビリらいらっく	
	常寛 介護老人保健施設みやかわ	
	常寛 介護老人保健施設みやかわ	
橋清明	北海道済生会小樽病院	
指倉	札幌病院	
水昭裕	札幌病院	
木昭裕	札幌病院	

井井川村	辻田宏	れいみの里
古平町	辻田宏	れいみの里
根戸町	辻田宏	れいみの里
共和町	大久保裕	コミュニティホーム岩内
岩内町	小川徳之	コミュニティホーム岩内
喜越町	平澤朗	堤布温泉病院
泊村	佐藤英城	神恵内ハイッ998
神恵内村	佐藤英城	神恵内ハイッ998
ニセコ町	秋田渉一	慎知安厚生病院
真狩村	秋田渉一	慎知安厚生病院
留寿都村	木村圭佑	慎知安厚生病院
喜茂別町	木村圭佑	慎知安厚生病院
京極町	吉田和人	慎知安厚生病院
慎知安町	吉田和人	慎知安厚生病院
寿都町	小玉武志	西小樽病院みどりの里
豊松内町	小玉武志	西小樽病院みどりの里
奥牧村	小玉武志	西小樽病院みどりの里
	津田 克彦	恵愛病院
	西川さやか	JOCHO豊別病院

「不在市町村」のOTが複数の市町村に

（※同一市町村に複数所属する場合は、重複して記載）	大谷 嘉範	遠矢佐藤病院
むかわ町	船浦千果子	植苗病院
	大越弘明	日指病院
浦河町	丹 孝泰	浦河赤十字病院
	西館知美	遠矢佐藤病院
様似町	丹 孝泰	浦河赤十字病院
	西館知美	遠矢佐藤病院
えりも町	丹 孝泰	浦河赤十字病院
	西館知美	遠矢佐藤病院
新ひだか町	牧野史生	静内病院
	佐藤知哉	静内病院
日高町	坂あゆみ	苫小牧東病院
	大谷 嘉範	遠矢佐藤病院
平取町	坂あゆみ	苫小牧東病院
	大谷 嘉範	遠矢佐藤病院
新冠町	牧野史生	静内病院
	佐藤知哉	静内病院
白老町	和泉 聡	社会福祉法人 静内ベテカリア
	大谷 嘉範	遠矢佐藤病院
函館市	大石 朋裕	函館中央病院
	門脇俊輔	函館新都市病院
北斗市	千田 芳明	高橋病院
	原子丈夫	やわらぎ苑西桔梗
七飯町	野坂康博	なえな新病院
鹿部町	山上雄大	ケアプラザ新函館
森町	井本真美	あまかつの里 なえな
	大井理人	函館中央病院

厚志部町	山崎礼二	函館脳神経外科
木古内町	鈴木 健嗣	木古内国保病院
知内町	清部 和	合同会社クリティカライズ
	藤 文太	函館脳神経外科
福島町	中谷 明子	函館脳神経外科
松前町	河野 スリ子	松前町立病院
奥尻町	伊丸岡 知明	西郷病院
上ノ国町	福土和実	函館新都市病院
江差町	丸山徹也	函館新都市病院
八雲町	高橋由美子	八雲総合病院
	幸村はるか	コミュニティホーム八雲
長万部町	大和幸司	コミュニティホーム八雲
今金町	笹田真紀	今金町老人保健施設
せたな町	池田 靖子	八雲総合病院
	後藤 祐希	道南ロイヤル病院
乙部町	松岡智子	松岡訪問看護サービス
恵布市	阿部正之	十勝リハビリテーションセンター
芽室町	寺嶋正啓	おおえメンタルクリニック
中札内村	山田智子	遠立緑ヶ丘病院

町村が半

が

町村を担

足寄町	平松 真友子	十勝リハビリテーションセンター
陸奥町	寺嶋正啓	おおえメンタルクリニック
	山崎隆正	美瑛療養病院
網走市	中山 由臣	特別養護老人ホーム鶴の園
	北川 仁	星が清病院
網走市	東田雅哉	ナースिंगホームコスモス
厚岸町	瀬下義正	中函館デイケアセンターさくら
浜中町	瀬下義正	中函館デイケアセンターさくら
標津市	大塚恭子	標津町立病院
弟子屈町	水本達也	デイケアセンターた二八
網走市	櫻川 智	老人保健施設 えんれい荘
白糠町	星川 宇	特別養護老人ホーム 清和園
標室市	稲荷博之	セラピーセンターさくら
中標津	茂木悟	町立中標津病院
標津市	茂木悟	町立中標津病院
別海町	深山美香	老人保健施設 すこやか
羅臼町	氏家康次	老人保健施設量が浦
旭川市	川上 和敏	北部保健福祉専門学校
	小笠原 和真	旭川三愛病院
	斉藤 英典	大雪病院
	手塚 隆文	旭川圭泉会病院
	久世 みどり	旭川圭泉会病院
	山本 大地	一条通病院
	中濱慎徳	旭川リハビリテーション病院
	森田 洋介	森山メモリアル病院
	田中 国	森山メモリアル病院
	北村 憲洋	森山メモリアル病院
	前橋 初枝	大西病院

[illegible]

OT不在市町村が半数、
一人のOTが
複数の市町村を担当

各市町村と道士会を繋ぐ窓口担当を 配置・育成し、地域作業療法を推進する ②

- ・ 訪問前に、「HP」などにて調査し、「データベース」を作成。
- ・ 地域ケア会議や地域包括支援センター等での実践を通し、
「各市町村に特有な課題、事業計画への反映」や、
個別マネジメントの成果等をデータベースで共有し、
「好事例を示し」、啓発・普及に役立てる。

データベース 一例

市区町村	包括	運営	O T	施設						訪問挨拶要約	可能性	
					開催	個別	圏域	市町村	O T		会議	事業
函館市	西堀	委託	175名	33	○	25回/年	○	無	×	包括を所管している函館市へアピールしたほうが良いと希望が聞かれた。地域ケア会議でのO T役割明確にしてほしいと要望があった。支援事業に関しては法人内の西堀病院P Tが実施している。	△	△
	社協	委託			○	不定期	○		×	O Tの仕事がわからないので見極めたい。ケア会議参集は現状では難しい。人手は足りない。	△	△
	厚生院	委託			○	不定期	○		×	健康教室への関与に期待したい。ケア会議は必要があるケースではO T参集も考慮したい。	△	△
	こん	委託			○	不定期	○		○	介護予防事業への参画は函館市の意向によるため、現状では判断できない。地域ケア会議招集は前向きに検討したい。	○	△
	よろこび	委託			○	6回/年	○		×	新介護予防の正式な通知が来てから検討したい。地域ケア会議は必要であれば招集する。	○	△
	あさひ	委託			○	7回/年	○		×	転倒予防教室は同一法人の森病院P T、函館赤十字病院P Tに依頼している。健康作り教室にOTが関与してほしいとの希望が聞かれた。ボランティア育成に期待したい。	○	○
北斗市	かけはし	委託	7名	3	○	不定期	無	無	×	渡島保健所O T関与（非会員）。ケア会議参集は現状では困難。O Tの参画はもう少しアピール必要。	×	△
森町	森	直営	2名	1	○	3回/年	×	無	×	どんどん関わって欲しい。ケア会議は内容により是非参加して欲しい。センターにリハ職を配置したい。	○	○
七飯町	七飯	直営	14名	4	○	2回/月	○	○	×	ケア会議に必要時参加してもらいたい。社協の生きがいデイサービスに参加してもらいたい。	○	○
鹿部町	鹿部	直営	0名	0	○	1回/月	無	無	×	ケア会議参集検討する。予防事業は通知後検討。年間契約を希望。健康教室は協会病院のP Tが実施している。	△	△

各市町村と道士会を繋ぐ窓口担当を 配置・育成し、地域作業療法を推進する ③

- ・ マスター4名（MTDLP研究員）と役員を各地域に派遣し、各地区の代表者や市町村担当者に、「効果と効率の両面から」
 - （1）模擬的なOJT、
 - （2）地域連絡会、
 - （3）MTDLPといった「三階建て研修会」として行う。
- ・ その後、地区代表者が市町村担当者を指導しつつ、「各市町村の実情に合わせて訪問する事業」を行う。

2014年度 4地域での三階建て研修会

2014年6月28日(土)～29日(日) 北見市(道北地域)版

○市町村担当者会議 地域OT系クローズ 28日(土)11:30～15:00(210分)

11:30～ 90分～ 13:00 オリエンテーション・講義

14:00～ 60分～ 15:00 ディスカッション;各地の取り組み・課題

○パイロット事業 OJT系クローズ 15:15～18:00 (165分)

15:15～ 35分～ 15:50 オリエンテーション・イントロダクション

15:50～ 20分～ 16:10 担当者の宿題 まとめ

16:10～ 50分～ 17:00 OJT「市町村担当者が行うこと」

17:00～ 60分～ 18:00 事例に基づくロールプレイ・質疑・アンケート

○MTDLP系オープン 29日(日)9:00～12:30 (210分)

9:00～ 45分～ 9:45 MTDLP普及の狙いと道士会取り組み

9:45～ 40分～ 10:25 MTDLPとは. ツールの使い方

10:25～ 10分～ 10:35 事例紹介

10:35～ 90分～ 12:05 個人演習

12:05～ 25分～ 12:30 グループ演習

パイロット事業としてのOJT研修

実践に資する知識やskillの獲得を図る

札幌、函館、北見、釧路の4地域で開催

- オリエンテーション 35分
- 宿題のまとめ（HPで事前調査） 20分
- 「市町村担当者が取り組むこと」 60分

電話の掛け方、名刺交換方法、ツールを説明する要点などを
シナリオにそって 模範演技後に二人一組にて相互に練習

- 「事例に基づく演習」 60分

協会のMTDLP事例にそって グループでプランニング演習



「市町村担当者の取り組むこと」

ロールプレイ1:

電話連絡・接遇・プレゼンの方法

台本の場面設定

場面1 電話対応編

場面2 課長級あいさつ・名刺交換

場面3 担当職員対応編

場面4 地域包括支援センター 電話対応編

場面5 地域包括支援センター 訪問編



市町村担当者 応対ロールプレイ シナリオ

場面2 課長級あいさつ・名刺交換

- 名刺を渡すときに気を付けること
 - ・ 相手が差し出した名刺の高さより、低い位置で名刺を差し出す
 - ・ 名刺をテーブル越しに渡さない
 - ・ ポケットやお財布から直接名刺を出さない
 - ・ よれよれの名刺、折れ曲がっている名刺、汚れている名刺を渡さない
- 着席順
 - ・ 一般的には、目上の人・客は上座に座ることになる。
 - ・ 応接室1や会議室の場合は、応接入り口から最も遠い席が上座となる。
 - ・ 長いテーブルに、片側3名以上で席につく場合は中央が上座。

「〇〇が来るまでこちらでお待ちください。」

指定された場所に着席。指定されない場合は、入口奥の上座に座るのが原則。

「お待たせしました。」 立ち上がってあいさつ

「本日は貴重なお時間をいただきありがとうございます。」

近づいて名刺を差し出しながら「私、北海道作業療法士会の〇〇と申します」

と言いつつ名刺を交換。相手の名刺を「頂戴いたします」と受け取る。

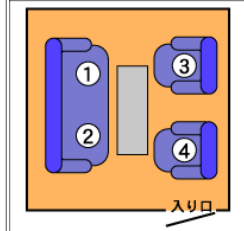
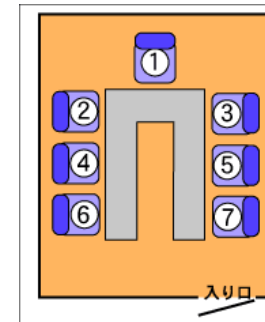
名刺に目を通して、難読文字の場合は

「失礼ですが、なんとお読みすればよろしいのでしょうか？」

と確認し着席し、名刺を名刺入れの上に乗せテーブル左側に置く。

「このほど、北海道作業療法士会では、道内179市町村の担当窓口制を敷くことになり、私が〇〇町さんの担当となりましたのでごあいさつで伺いました。」

「10分ほどお時間頂いてよろしいですか？」



「OTとして地域ケア会議に提案する視点」 ロールプレイ2: 事例グループ検討

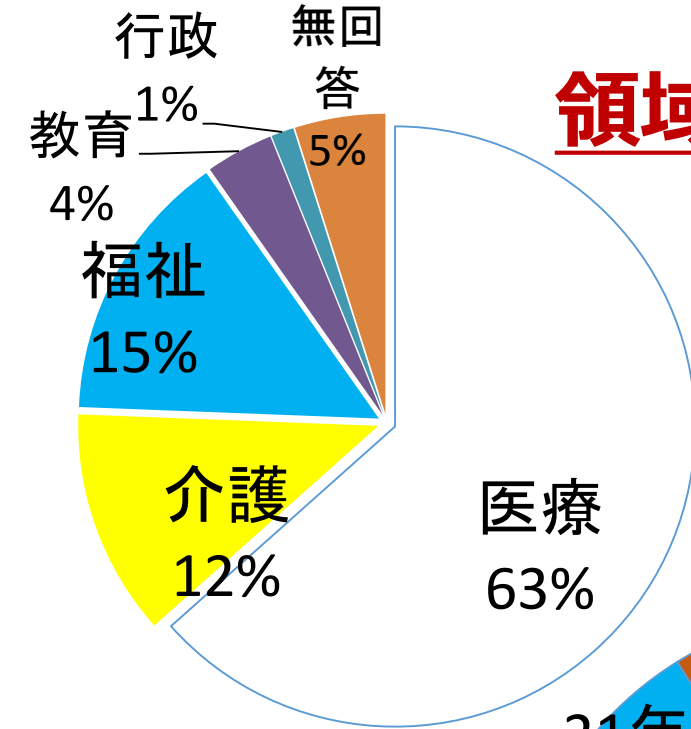
- 講師は、
協会のMTDLP研修会を
履修した4名と、
地域での実践が豊富な
役員や会員が行った。



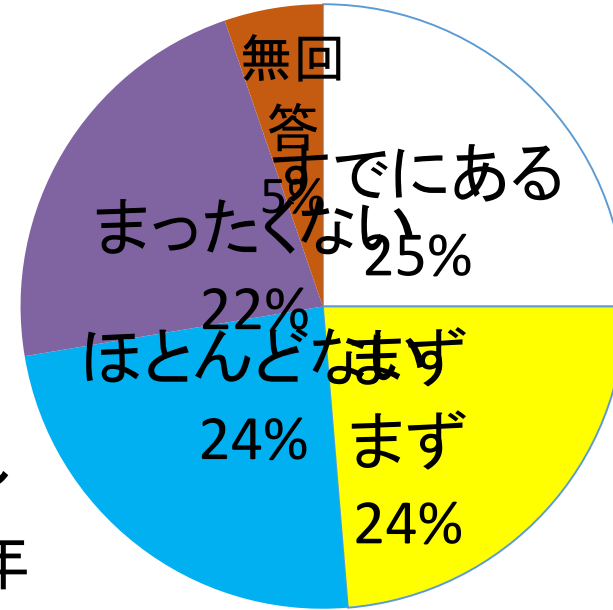
【参加者の基本情報】

179市町村で139人の担当者
うち86名が参加した

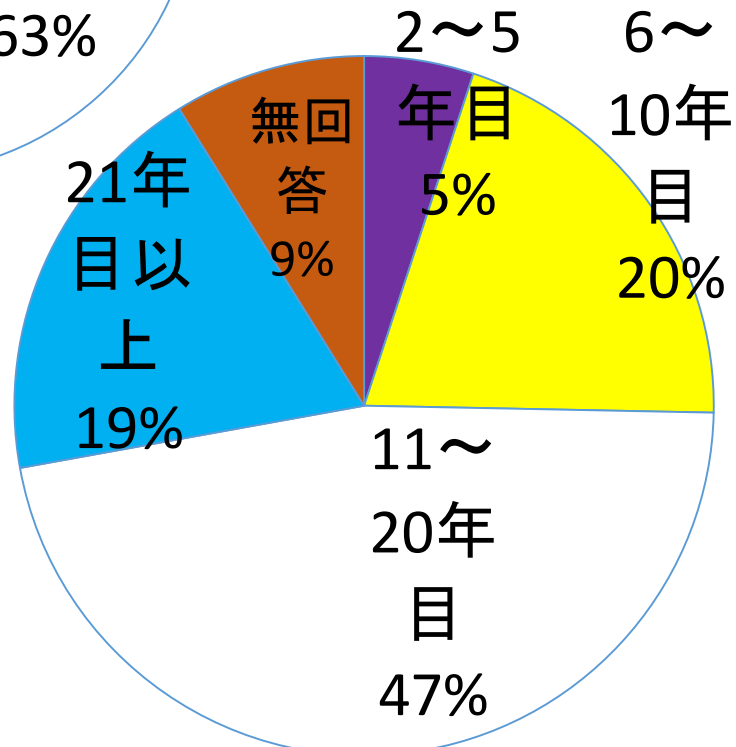
領域



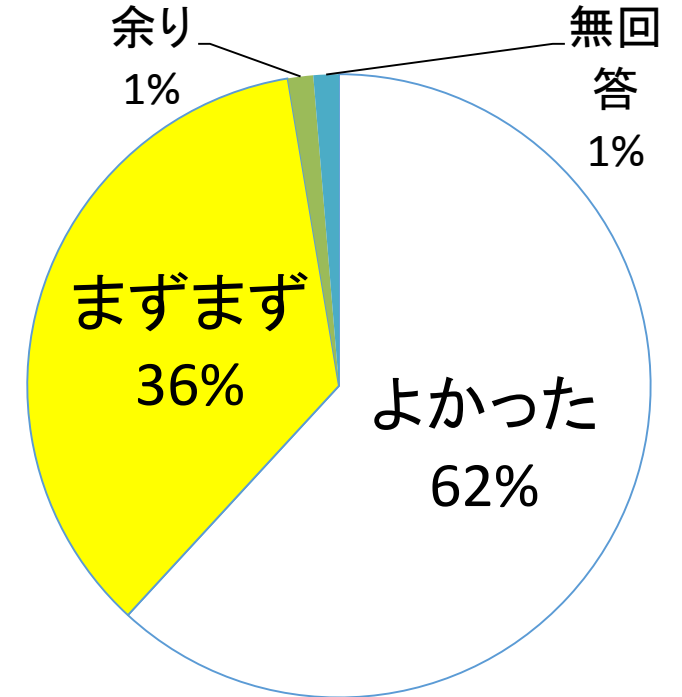
連携



経験



研修



コメント

「どのように挨拶に行けばよいのか理解できた」

「模擬的OJTはわかりやすかった」

「危機感を持続できるよう努力しようと思った」

「挨拶に行く前に研修があった方が良かったが、
行った後だからわかることも多かった」

「手探りでも進んでいくしかないと感じている」

「私達が役立つ職種であることをアピールしながら、
他専門職と一緒に社会を作っていきたい」

平成26年度パイロット事業総括 2015.3.31現在

地域ケア会議			介入前数		介入後数		介入前O T 関与		介入後O T 関与	
地域	市町村	包括	市町村	%	市町村	%	市町村	%	市町村	%
道央地域	70	128	15	21%	37	53%	0	0%	16	23%
道南地域	18	25	7	39%	18	100%	1	6%	4	22%
道北地域	59	74	19	32%	43	73%	1	2%	3	5%
道東地域	32	38	7	22%	21	66%	0	0%	3	9%
全道計	179	265	48	27%	119	66%	2	1%	26	15%
一次予防事業			介入前数		介入後数		介入前O T 関与		介入後O T 関与	
地域	市町村	包括	市町村	%	市町村	%	市町村	%	市町村	%
道央地域	70	128	14	20%	31	44%	0	0%	10	14%
道南地域	18	25	13	72%	18	100%	0	0%	0	0%
道北地域	59	74	16	27%	43	73%	0	0%	7	12%
道東地域	32	38	12	38%	26	81%	0	0%	5	16%
全道計	179	265	55	31%	118	66%	0	0%	22	12%
二次予防事業			介入前数		介入後数		介入前O T 関与		介入後O T 関与	
地域	市町村	包括	市町村	%	市町村	%	市町村	%	市町村	%
道央地域	70	128	6	9%	19	27%	0	0%	7	10%
道南地域	18	25	10	56%	15	83%	0	0%	2	11%
道北地域	59	74	14	24%	28	47%	0	0%	2	3%
道東地域	32	38	9	28%	19	59%	0	0%	4	13%
全道計	179	265	39	22%	81	45%	0	0%	15	8%

平成26年度 パイロット事業 要約

〇 T 不在市町村		92／179	51.4%	
訪問済み市町村		173／179	96.6%	(電話6市町村)
訪問済み包括		259／267	97.7%	(電話6包括)
地域ケア会議参加（一回以上）	2 ⇒	<u>26</u> ／179	14.5%	
1 次予防参加	0 ⇒	<u>22</u> ／179	12.3%	
2 次予防参加	0 ⇒	<u>15</u> ／179	8.4%	
H26委託（地域ケア会議）	下川町・中頓別町			
H26委託（予防事業）	下川町・中頓別町			
H27委託予定（地域ケア会議）	下川町・中頓別町・釧路市・白糠町・浦臼町・帯広市 恵庭市・新篠津村・鹿部町			
H27委託予定（予防事業）	占冠村・知内町・遠別町・古平町・白老町			

北海道作業療法士会の派遣事業

中頓別町

下川町

旭川市

札幌市

東京 ⇒ 韮崎 ⇒ 安曇野 ⇒ 糸魚川
140km 100km 95km
札幌 ⇒ 旭川 ⇒ 下川町 ⇒ 中頓別

平成26年度パイロット事業

「各市町村と道士会を繋ぐ窓口担当を配置・育成し
地域作業療法を推進する」は、一定の成果を上げた。

平成27年度パイロット事業

「各市町村の窓口担当作業療法士を育成し
地域ケア会議に参加する」に、成果を継承してゆく。

下川町・中頓別町以外にも
さらに帯広・占冠・知内・遠別などへ

受託事業（中頓別町と下川町）

平成26年度実績

委託事業請負市町村	中頓別町	下川町
委託内容	機能訓練事業 8回/年	リハビリテーション活動支援 12回/年
謝金	一勤務67,660円（約6.0時間）	講師：9,000円/h 実技：5,400円/h 打合せ800円/日
交通費	士会負担	3,520円（旭川往復）
通所回数	来所者：23件/年、在宅訪問：21件/年、 リハビリ教室：7回/年（来所者：介護認定者、一次予防、二次予防、三次予防混在 訪問：二次予防）	訪問 17件/年 介護ボランティア教室 1件/年 （訪問者：二次予防）
訪問評価	同行者：保健師、ケアマネジャー	同行者：保健師、ケアマネジャー
業務前後の カンファレンス	参加者：保健師、ケアマネジャー、 社会福祉士	参加者：保健師、ケアマネジャー、社会福祉士
記録用紙への記載	身体・生活に関する評価、指導内容等	ICFまとめ、指導内容、等
地域ケア会議 への参加		6回/年 参加者：保健師、社会福祉士、栄養士、介護福祉士、ヘルパー、生活指導員、グループハウス職員 評価・訪問内容、提案などを報告
その他	リハビリ教室の講演： 参加者：70～90歳代の女性15名程度1回 職員向けの講話：1回	介護ボランティア教室：参加者；ボランティア登録した13名（約60～70歳代の男性2名・女性11名） 【内容】講義；作業療法，介護介助，介助の実際，転倒予防 実技；車椅子操作の体験、歩行介助
士会から支払額	規定 謝金27,500円＋交通費6,700円	規定 謝金13,500円（3時間）＋交通費3,520円
派遣者	旭川リハ病院、中濱、門間、外山OTR	旭川リハ病院、中濱、門間、外山OTR

全道各地から嬉しい報告が！

赤：士会委託（契約）

青：委託外派遣（依頼文書のみ）

- 札幌北区；1次予防：6月24日運動教室、7月10日に2箇所で開催。
- 札幌白石区；ケア会議、1次予防について今後参加予定。
- 知内町；現在は個別訪問を各回4件程度実施。今年度は11回を予定
- 函館市；2包括で介護予防事業にOTが関わっている。「元氣いきいき教室」を年18回開催。
- 八雲町；地域ケア会議、介護予防事業に参加している。
- 今金町；介護予防推進協議会アドバイザー依頼。地域ケア会議、介護予防事業に参加している。
- せたな町；認知症初期支援チーム検討会へ参加。
- 鹿部町；地域ケア連絡会に参加している。道士会交通費支給で参加。
- 更別村；1次予防講師派遣依頼あり。
- 帯広市；ケア会議開催に向けた会議に参加。「いきいき温泉事業」（一次予防）へ出向予定。
- 深川市；地域リハ支援事業への参加と訪問事業を行う予定。
- 妹背牛町；OT派遣の予算もつけてくれたので、今年度介護予防等から動く予定
- 芦別市；地域ケア会議での講師を頼まれています。予算はつけると。
- 雨竜町；地域ケア会議に行くか決まるかと思います。
- 滝川市；市職員OT勤務。○地域ケア会議：月1回定例で地域ケア会議実施の際に毎回OT参加。
○介護予防：H27年度から介護予防事業のリハビリテーション活動推進支援事業で、"

- 砂川市；26年度より地域ケア会議にOT参加。2ヶ月に一回開催
- 岩内町；コミュニティーホーム岩内にて介護予防サロンを設置し、1・2次予防の基盤作りを構想中。
- 恵庭市；地域ケア会議にはまだ参加していないが委託を受けた。
- 江別市；3団体で6月18日に市参事に挨拶に伺う。新
- 篠津村；来年度から地域ケア会議に交通費程度の委託予定。6月16日地域ケア会議に参加。
- 石狩市；1次2次予防に関与。 浜益地域包括支援センターからの委託で認知症に関する講演会依頼あり。7月7日開催決定。
- 網走市；地域ケア会議、一度お試しというお誘いを受け参加した。
- 旭川市；地域ケア会議へ参加
- 中頓別町；年8回派遣予定。来所者および訪問での評価および指導。訪問前後のカンファレンス。
職員向けの講演を実施
- 下川町 年12回派遣予定。在宅訪問し評価および環境調整を実施。訪問前のカンファレンス参加。
実施後記録用紙へ記載。個別地域ケア会議へ参加。介護予防ボランティア講習会の開催
- 遠別町；年3回派遣予定。施設入所者への評価および指導。訪問前後のカンファレンス。
- 幌延町；年4回派遣予定。地域ケア会議への参加。
- 北見市；地域ケアネットワーク会議に出席
- 当別町；地域ケア会議参加
- 厚沢部町；地域ケアネットワーク検討協議会W/C会議へ出席

平成26年度 訪問状況 道南支部 道南西・北地区一覧

市区町村	包括	運営	O T	施設						訪問挨拶要約	可能性	
					開催	個別	圏域	市町村	O T		会議	事業
知内町	知内	直営	0名	0	○	1回/年	無	無	×	リハビリ教室はP T。予防段階での介入が課題。本当に来てくれるのか？どのくらい来てくれるのか？	△	△
木古内町	木古内	直営	2名	2	○	1回/月	無	無	×	O Tは介護予防に積極的に関わっている。O Tは町職員。	△	○
福島町	福島	直営	0名	0	○	1回/月	無	無	×	保健事業にP T、S T。専門職を派遣は非常に助かる。予防だけでなく介護領域にも派遣希望。	○	○
上ノ国町	上ノ国	直営	0名	0	○	4回/年	無	無	×	専門職の役割分担を理解していない。O Tには様々な場面で関与希望。予防事業は函脳外P T、S T。	○	○
松前町	松前	直営	1名	1	○	不定期	無	無	×	町の基準では低額の派遣費になるため士会提示を望む。C M個別支援計画にも参加して欲しい。	△	○
江差町	江差	直営	1名	1	○	不定期	○	無	×	介護保険料が高く町民から不満、なんとかしたい。O Tへ期待大きい。予防事業に道立江差P T。	○	○
厚沢部町	厚沢部	直営	0名	0	○	4回/年	○	○	×	厚沢部町に合わせた方法で派遣希望。予防事業は函脳外O T、P T、S T。ケア会議は試行錯誤している。	○	○
奥尻町	奥尻	直営	0名	0	○	2回/月	無	無	×	在宅ケア事業団委託。予防事業は島民の自分時間や通所につながらないなど、島特有の困難さあり。	△	△
八雲町	八雲	直営	13名	3	○	4回/年	無	無	○	新介護予防の正式な通知が来てから検討。3年間の経過措置で移行する。O Tは町職員。	○	○
	熊石	直営	0名	0	○	1回/月	無	無	○	積極的に今後も連携をとって行きたい。	○	○
長万部町	長万部	直営	0名	0	×		無	無	×	近隣町のサービス利用。新介護予防の正式な通知が来てから検討。	○	△
今金町	今金	直営	2名	2	○	不定期	無	無	×	N P O法人りらいふに訪問リハ委託している。健康体操などをO Tにやって欲しい。O Tは町職員。	○	○
乙部町	乙部	直営	1名	1	○	1回/月	無	無	×	作業療法士を良く知らない。家屋評価に専門職なし。O Tのケア会議参加は検討する。	△	△
せたな町	桧山・瀬棚	直営	1名	1	○	不定期	○	無	×	個別訪問をお願いしたい。生活支援コーディネーター協議会に関わって欲しい。	○	○
	大成区	直営	0名	0	○	不定期	○	無	×		○	○

平成26年度 市町村事業状況 道南支部 北・西地区一覧

市町村	一次予防				二次予防			
	介護普及啓発	O T	地域活動支援	O T	通所型	O T	訪問型	O T
八雲町	広報やくも・パソナ・HP 介護予防教室 定期健康相談 栄養改善教室	×	3事業 高齢者、障がい者の総合相談 八雲町認知症家族の会 熊石介護者と共に歩む会	×		○		○
長万部町	介護予防教室（1回/月）	×		×		×		×
今金町	いきいき元気塾 いきいき元気クラブ 福祉講演会	×		×		×		×
乙部町	お達者いきいき教室 お達者びんしゃん教室 お達者体操教室 男のためのお達者教室	×		×		×		×
せたな町	3事業	×		×		×		×
知内町	健康づくり教室	×	脳トレ	×		×		×
木古内町	講演会（病気等）	×	ピンコロ会	×		×		×
福島町	健康フェスティバル	×	高齢者学級 老人クラブ	×		×		×
上ノ国町	講演会	×	各地域での出前教室	×		×		×
松前町	介護予防普及啓発事業	×	地域介護予防活動	×		×		×
江差町	いきいき健康教室 はまなす教室	×	いきいき健康事業 ころばん教室	×		×		×
厚沢部町	元気はつらつ教室 さわやか教室	×	認知症学習会 介護教室	×		○		○
奥尻町	お元気サロン	×	いきいき福祉フェア	×		×		×

あいさつ訪問を切っ掛けに地域連携が促進された道南の4市町村

	概要	総合事業移行の考え	事業依頼	内容・包括コメント等
今金町	5,728人(36.8%) OT老健2名, 病院1名 派遣：八雲町 (44km)	まだ、具体的に考えていない。	介護予防協議会設立と地域ケア会議運営へのアドバイザー、訪問型介護予防事業	・介護予防推進協議会（年2回） ・地域ケア会議運営のアドバイス（隔月） ・訪問型介護予防事業（隔月） 「総合支援事業移行で、要支援者や非該当者の介護予防が少しずつ見えてきた」
せたな町	8,819人(40.6%) OT病院1名 派遣：八雲町 (50km)	生活支援コーディネーター協議会を立ち上げる予定。OTにも協力してもらいたい。	訪問型介護予防事業（町内民間病院作業療法士との連携促進）	・訪問型介護予防事業（必要時）。 ・認知症初期集中支援チーム立ち上げに向けた協議会への参加。 「挨拶訪問をきっかけに町内OTと連携しやすくなった」
鹿部町	4,179人(34.7%) OT不在 派遣：函館市 (45km)	今後の動向を伺っている。他市町村の様子を見ながら検討したい。	地域ケア連絡会への参加と地域ケア会議開催準備	・地域ケア連絡会への参加（隔月） ・介護保険非該当者への個別訪問（予定） 「リハ専門職が町内にいないので、リハビリ的な視点があると助かる。今後、総合支援事業を展開していくうえで心強い。」
知内町	4,795(33.4%)人 OT不在 派遣：函館市 (48km)	現在検討段階である。	訪問型介護予防事業と講演依頼	訪問型介護予防事業（5月より月1回） ・講演依頼（地元業者、ケアマネジャーへの講演テーマ：住宅改修 回数：1回） 「1次産業の従事者の腰痛予防などの相談なども行えたのでよかった」

今金町の事例；あいさつ訪問から事業依頼まで

H26.7.7 約6年前に講演した作業療法士を伝に今金町包括支援センターの主幹（保健師）にOT担当者があいさつに行くことを電話連絡。

H26.7.18 あいさつ訪問 保健福祉課長と主幹が応対してくれた。道士会の考えを説明した。OT担当者は今金町老健の作業療法士であるが、殆ど連携はなかった。

H26.10月、とある懇親会でこれからの介護予防について道南地域長と保健福祉課主幹が意気投合。町在住の作業療法士も育ててください！と。

H27.1.28 保健福祉課主幹と係長が、道南地域長を訪問し、今金町介護予防推進協議会設立に協力してもらえないかと依頼された。

H27.4.17 今金町介護予防推進協議会設立

H27.4.28 第1回介護予防地域ケア会議開催

今までのケア会議と区別するために「介護予防」と付けた

およそ6ヶ月



今金町介護予防推進協議会

H27年4月17日設立



第1回

H27.4.28

- 第1回地域ケア会議は、ルール提示と司会進行を作業療法士が行った。時間を決めずじっくりと3例。

第2回

H27.6.23

- 第2回は包括保健師が司会を務めた。
- 傍聴席を作り、OJTとして町内多職種を参集。

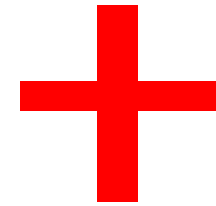
第3回

H27.8.25

- これから

第6期 高齢者保健福祉計画・介護保険事業計画 高齢者ニーズ調査町民からみた 今金町介護予防のポイント

- 外出を控えている理由は「足腰の痛み」
→いつまでも歩けるように、運動器向上
- 外出の移動手段は「徒歩」「自家用車」
→外出の目的を確保
→いつまでも運転できる認知機能
→乗せてもらえる人付き合い
- 治療中の病気は「高血圧」
→食生活、運動、服薬管理
- 在宅サービス利用は「デイサービス」
→デイサービスでの介護予防が大切
→多様な通い場の創出



趣味・役割と社会参加

今金町介護予防推進事業 ひとまち元気プロジェクトの提案

介護予防を通して

元気な高齢者から
寝たきりの高齢者まで

みんな元気に！
町も元気に！

介護保険給付費の減少
まちづくり・地域づくり
サポーター育成

個別訪問の様子（自立～要支援 2） （13:30～16:00 3名）

気分の落ち込みが多い、○本さん

全てヘルパー任せの、○井さん

奥さんの声掛けで動く、○木さん



もう一度
花壇を作るのが目標



入所中の妻の面会を
続けるのが目標



洗濯物
を自分で干す、
取り込める高さ設定



掃除機だけは
自分でかける



3食の食事を台所に下げる
ついでに、脚の運動
コロコロカーペットは自分で
やる
（粘着なくなったら修了）

地域課題・資源発見表

第1回介護予防地域ケア会議（H27.4.24）

検討ケース	地区	生活行為の目標 (要モニタリング)	必要な地域資源	分類
○本さん	種川宮前	① 運動をする。 ② 花畑に花を植える。 ③ 種川温泉に歩いていける。	① 夫婦で出かけられる場所がある。 ② 一緒に花壇を作ってくれる人がいる	2 1
○井さん	昭和町	① ヘルパーさんが 来ているときに、 掃除機をかける、 洗濯物を畳む。	① ゴミだしの時に、 声をかけてくれる人がいる。 ① 玄関先にごみを置いておくと、 持って行ってくれる人や、 システムがある。	1 1・4
○木さん	神丘新興	① 3度の食事の片づけをする。 ② コロコロカーペットで 粘着力が無くなるまで 掃除する。 ③ 老人クラブに行く	① 玄関先にごみを置いておくと、 持って行ってくれる人や、 システムがある。 ② 短時間のデイケアがある。 ③ 移動の確保（車送迎等） ④ 補聴器の出張サービス	1・4 2 4 3

分類： 1 = 人、 2 = 場所、 3 = 環境・サービス、 4 = 仕組み

平成27年度パイロット事業および地域事業計画

27年度は、「3階建て講習会」を踏襲しつつ、パイロット事業の続編として計画した。

- ① ICFおよびMTDLPを活用して「地域ケア会議に資する人材を育成」し、
「市町村アドバイザーとして道士会が認定し組織化する」ための、
「模擬ケア会議的な事例検討会」を、模擬的OJT講習会として行う。
- ② ①を、26年度の27地区長を、27年度は179市町村の窓口担当者に拡大。
道南・道東・道北各1回、道央地域で3回、複数名の育成を屋根瓦方式、組織化。
- ③ 各市町村へ啓発や普及を図るため、新たに地域部を組織し以下の事業を行う
- ④ 「あいさつ訪問事業」は、OPSの3士会連絡協議会にて、横の連携を取りつつ行う。
- ⑤ 「地域支援事業への派遣事業」は、10市町村の依頼を見込み、100%の派遣を。
- ⑥ 「地域ケア会議への派遣事業」は、道内179市町村中20%の35市町村へ参画を。
- ⑦ 地域医療介護総合確保基金の有効活用を、三士会として道と検討。

2015年度 三階建て研修会

2014年6月27日（土）～28日（日） 室蘭市（道央地域）版

○市町村担当者会議 セミオープン 28日（土） 13:00～14:30(90分)

13:00～ 90分～ 14:30 オリエンテーション・地域課題の共有

OJT「市町村担当者が行き組むこと2015」

○パイロット事業 セミオープン 28日（土） 15:00～18:00(180分)

15:00～ 25分～ 15:25 地域支援事業概論～地域ケア会議について

15:25～ 25分～ 15:50 ロールプレイ「模擬地域ケア会議」

15:50～ 30分～ 16:20 地域ケア会議アドバイス個人演習

16:30～ 90分～ 18:00 地域ケア会議アドバイスグループ演習

アドバイス例示とアドバイス集、認定証授与

○MTDLP基礎研修 オープン 29日（日） 9:00～17:00（90分+330分）

9:00～ 90分～ 10:30 MTDLP概論

10:30～ 60分～ 11:30 演習事例紹介と聞き取り演習

12:30～ 150分～ 15:00 アセスメント演習シートの活用

15:00～ 90分～ 16:30 プラン演習シートの活用

16:30～ 30分～ 17:00 申し送りシート書き込み方法

北海道リハビリテーション3団体連絡協議会の経緯

平成23年5月30日 月刊クォリティ取材 三士会会長面談

12月6日 道POS会会長会 道POS協議会設立に向けて
会員数で会費（6:5:3）を合同訪問リハ研修会など

平成24年 1月6日 道POS会長会 三士会相互賛助会員制度確立へ

2月26日 北海道三士会合同訪問リハ実務者研修会開催

5月21日 月刊クォリティ取材

12月3日 北海道リハ3団体連絡協議会設立 会費（10:10:6）

平成26年 6月3日 月刊クォリティ取材

8月9日 全国POS会長研修会

8月11日 道POS会長会 地域包括・ケア会議推進の打合せ

（OT士会のシステムにPT・STが乗っかって推進する）

9月18日 連絡協議会として道庁関連部局訪問



公営社団法人
北海道理化学療法協会
会長 **太田 誠**



食清水 兼悅



北海道青果販売士会
会長 小橋 透

2018年の診 同時改定に向けて

専門職（以下、リハ専門職）と呼ばれていますが医療施設で診療することが多い。特に急性期の施設では患者さんにできるだけ早く退院していただくよう努めます。そのため我々の関わりが年々短期間なる傾向にあります退院した患者さんが安全で快適な生活をおくれるためには、医療施設の治療だけでは限界があります。

清水 そうですね。今求められていることは、地域の高齢者とうよう関わつ

ていくかが重要な課題です。リハビリの視座を病院から地域へ転換し、在宅でのケアやフォローをしていかなければならない。例えば、私たちの仕事である作業療法ですが、折り紙など手工芸をやることが治療だと勘違いされています。本来生活で重要な作業とは、服を着る。ご飯を食べる。洗濯をする。などの生活行為です。手工芸は、その一環であって、本来はそれが生活に結びつかないと意味が無い。笑い話で

はないが、病院で1時間
リハビリをして、あとの
時間は家で寝ているとい
う患者さんが本当に多い
「身体機能」に偏ったり
ハビリだけではなく、「活
動」や「参加」（例・公
民館の催しや料理教室に
通うことなど）の生活機
能全般を向上させるバラ
ンスのとれたリハビリが
重要です。

小橋 確かに医療施設か
ら在宅へのケアは今後の
大きな課題ですね。私た
ちSTも訪問リハビリは
行っておりませう。食事が

うまく食べられない摂食障害下、障害や脳梗塞による失語障害などのケアをしています。ただ全ての患者さんを在宅でフォローすることは到底できない。それをするには人員が足りないのが現状です。

清水　それが私たちが抱えている大きな課題のひとつです。そもそもリハビリテーションというのは、自立支援という意味合いがある。自分たちの力で回復や復帰することが望ましい。これからの時代は「公助」（高齢者

2015·7月号 外洋

**療・介護報酬
「待ったなし」**

——それぞれの士会の活動を教えてください。

太田 1965年に「理学療法士及び作業療法士法」が制定され、69年に北海道理学療法士会が設立されました。昨年度末で約4600人の会員がおり、今年4月に入って新卒者400人以上が入会手続きをしたので今年度は5000人体制でや

システムの構築

ついています。私たちPTは今まで以上に病院から地域に出ていくように守備範囲を広くしていかなければなりません。また、社会貢献していくための準備も必要ですね。

清水 私たち北海道作業療法士会は70年に設立、会員は今期の新卒者を含め約2750人です。OTの診療範囲は精神科や

に言語聴覽士法が制定されましたので、まだまだ新しい士会です。法制定以前、資格制度がない時代から私たちは細々と現場でやっていたのですが現在はSTという地位をしっかりと確立し、少しずつ認知度も上がってきました。会員も着々と増えており、約700人います。資格制度の歴史が浅いためスタッフは若い人が多い。私は56歳ですが同世代の人がほとんどい

調いわるる「地域包括ケアシステムの構築」が今の最優先事項です。地域での保険・医療・介護・福祉などに立ててるよう活動しています。

——医療現場の現状は、

太田 私たち、PT・OT・ST 3職種はリハビリテーションの

●理学療法士 (PT) …身体に障害のある者に対し基本的動作能力の向上
●作業療法士 (OT) …作業 (365日24時間無休な生活行為) の向上
●言語療法士 (ST) …音声機能や聴覚、嚥下障害のある者について

2015·7月号 

H26.2.15北海道新聞

作業療法士 地域に派遣

同会は北口に入る介護職員の雇着を怠り止めるため、朝半ばから、市町村が行う介護保険制度に基づく介護予防のメニューを拡充、高齢者の運動教室などに作業療法士や理学療法士をリハビリ専門職として積極的に関わらせようとしている。

匿名療法士に志す者へ、立つて居る基本となる動作の回復に取り組み、一応、作業療法士は社会科系などの日常的行爲の指導や支援を行うのが特徴だ。同会によると、専門知識を持つ作業療法士は札幌や旭川など都市部の病院や施設に集中し、道内市町村の半数以上には当分の20名程度以上は居らず、同会が確保しなくてはならなかった。

同会は作業療法士の勉強先と連携し、職場の雇着を得た上で、会員を各町村に期間限定で派遣。市町村の介護予防の訪問指導や運動教室の講師などを担う。アマネジャや介護職員らと協力する「地域包括者」にも出席し、在宅生活者の生活改善に助言する。

介護予防へ期間限定／訪問指導や教室

同会が市町村が多試つてゐることは、既に述べた通りである。特に、市町村が關心を盡してゐる作業療法士がいらない限り、作業療法は派遣して置くことが検討されている。このことを模範として、道庁作業療法士の清水の報告によれば、「作業療法士が不足している」として、介護施設で働くようになったり、自治体職員に転出するところがある。増えた技術職、例へば「と畜場」や「保健所」などには、就職希望者があふれてゐる。ササキ博士以外の専門職も、都市部では求人の需要がない。取り組むのは在宅医療と各種の連携を図る重要な役割になる」と話してゐる。

 作業療法士 身体
や精神に障害がある人が社会で生活するために、習得させたり、排除されることがある。これを指導するリハビリテーションを受け、厚生労働省の令を受けて、医師の指示の下で行うため、大生が病院や福祉施設に勤務している。介護施設では家事や畑仕事など、個々の目標の達成に向けてリハビリを行う。例へば、クレーンで重い物を移すために、必要となる体力をつける。Aubrey

乱突としての暴生神 腰 〇のト京蘭コ

マスメディア
も大きく取り
上げてくれた

そして 平成27年

1月19日 北海道から

介護予防の推進に資するOT・PT・ST指導者育成事業

に関する問い合わせ

1月31日 OPS合同研修会 模擬ケア会議

2月9日 OPS会長会＋WG

2月13日 北海道に基金を活用した事業案を提出

⇒ PTのリーダー研修会 OTの市町村担当者会議

3月10日 OPS会長会＋WG

4月から 各支部においてOPS協議会の説明会開催

7月12日 札幌にて模擬ケア会議＋生活行為向上リハ講演

北海道リハビリテーション3団体連絡協議会主催研修会

「地域包括ケアシステムにおけるリハビリテーション専門職の役割を問う～リハビリテーション専門職不在地域ゼロ作戦～」

会期：2015年7月12日（日曜日） 10:00～16:00
会場：TKP札幌駅カンファレンスセンター
参加：地域包括ケアシステムに関わる方（先着 200 名）
（歯科衛生士・管理栄養士・ケアマネに声かけ）

内容：
Overview：10:00～11:00 リハ専門職不在地域ゼロ作戦
北海道リハビリテーション 3 団体連絡協議会
第一部：11:00～12:30 特別講演
「活動」と「参加」に資するリハビリテーション
一般社団法人 日本作業療法士会 会長 中村春基 先生
第二部：13:30～16:00
特別企画「模擬ケア会議～多職種協働で事例検討による on-the-job-training～」

（1）

（2015年7月12日）

（2015年7月12日）

（2015年7月12日）

（2015年7月12日）

（2015年7月12日）

（2015年7月12日）

（2015年7月12日）

（2015年7月12日）

（2015年7月12日）

（2015年7月12日）

（2015年7月12日）

（2015年7月12日）

（2015年7月12日）

（2015年7月12日）

（2015年7月12日）

（2015年7月12日）

（2015年7月12日）

（2015年7月12日）

（2015年7月12日）

（2015年7月12日）

（2015年7月12日）

（2015年7月12日）

（2015年7月12日）

（2015年7月12日）

（2015年7月12日）

（2015年7月12日）

（2015年7月12日）

（2015年7月12日）

（2015年7月12日）

（2015年7月12日）

（2015年7月12日）

（2015年7月12日）

（2015年7月12日）

（2015年7月12日）

（2015年7月12日）

（2015年7月12日）

（2015年7月12日）

（2015年7月12日）

（2015年7月12日）

（2015年7月12日）

（2015年7月12日）

（2015年7月12日）

（2015年7月12日）

（2015年7月12日）

（2015年7月12日）

（2015年7月12日）

（2015年7月12日）

（2015年7月12日）

（2015年7月12日）

（2015年7月12日）

（2015年7月12日）

（2015年7月12日）

（2015年7月12日）

（2015年7月12日）

（2015年7月12日）

（2015年7月12日）

（2015年7月12日）

（2015年7月12日）

（2015年7月12日）

（2015年7月12日）

（2015年7月12日）

（2015年7月12日）

（2015年7月12日）

特別企画「模擬ケア会議～多職種協働で事例検討による on-the-job-training～」

学会発表；第49回日本作業療法学会 in 兵庫

各市町村の窓口担当作業療法士を育成し地域作業療法を推進する事業

～平成26年度作業療法推進活動パイロット事業の経過報告～

公益社団法人 北海道作業療法士会 地域作業療法推進委員会

◎清水兼悦 浅野葉子 小岩伸之 仙石泰仁 菊地啓介

地域での実践に資する知識やSkill獲得を図る

模擬的On-the-Job Training講習会の成果

～平成26年度パイロット事業の経過報告～

公益社団法人 北海道作業療法士会 地域作業療法推進委員会

◎菊地啓介 岩永輝明 浅野葉子 仙石泰仁 清水兼悦

平成26年度 パイロット事業 北海道士会分 内訳

☆約40万円返金

科 目	1. 決定額	2. 支出額	3. 差 額
①給与	¥278,000	¥397,250	¥-119,250
②会議費	¥86,850	¥17,010	¥69,840
③旅費交通費	¥904,220	¥607,909	¥296,311
④消耗品費	¥50,930	¥11,710	¥39,220
⑤印刷製本費	¥80,000	¥146,872	¥-66,872
⑥通信運搬費	¥0	¥8,711	¥-8,711
⑦賃借料	¥200,000	¥9,610	¥190,390
合 計	¥1,600,000	¥1,199,072	¥400,928

平成26年度 北海道作業療法士会 決算

収入 3772万円

会費	2367万円
事業	621万円
繰越	781万円

パイロット 120万円

支出 3449万円

学術	291万円	8%
教育	302万円	8.7%
広報・渉外	172万円	5%
事業	84万円	2.4%
支部	348万円	10%
地域部	109万円	3%

パイロット 120万円 3.5%に匹敵

広域な北海道には非常に有効な資金であった

平成26年度パイロット事業 考察と価値

- 協会の飛行機の基準は500km
 - 大阪⇒東京 新幹線にて515km のぞみ155分 ひかり180分
 - 札幌⇒釧路 JRにて350km 240～270分 一日6本時間的制約から飛行機での往復となった。道士会負担とし、約40万円返金。
- 各種会議や事業など、地域でのOT関与は不十分であるが「好事例」があり、本事業を「切っ掛け」に展開、あるいは本事業が「直接貢献」したと考えた。
- しかし、HPで情報公開している市町村が少なく、訪問や会員などから直接収集する必要があった。
- さらに訪問した「包括」の約50%が、新年度以降の会議や事業に、OT参加を「依頼したい」とのことで、「訪問」の重要性を再認識した。
- 地域事業に資する担当者の育成と組織化を図る「ツール」や「仕組み」が、他の専門団体と連携して戦略的に推進してゆく「切っ掛け」ともなり、道士会のみならず、他士会の事業推進へのパイロットとなったと考えた。

key-word 「nakayoku」

[illegible]